

2024年12月期
第2四半期 決算説明資料
2024年8月5日

 内外トランスライン株式会社
International Freight Forwarder
プライム市場 9384

第2四半期 決算概要

2024年1月～6月

連結第2四半期累計実績

(百万円)

	2023/2Q	2024/2Q	対前年 増減率	2024/2Q 業績予想 (2月9日)	対予想 乖離率
売上高	16,231	17,214	6.1%	16,500	4.3%
営業利益	2,271	1,924	△15.3%	2,200	△12.5%
経常利益	2,443	2,182	△10.7%	2,300	△5.1%
親会社株主帰属 当期純利益	1,646	1,474	△10.5%	1,600	△7.9%

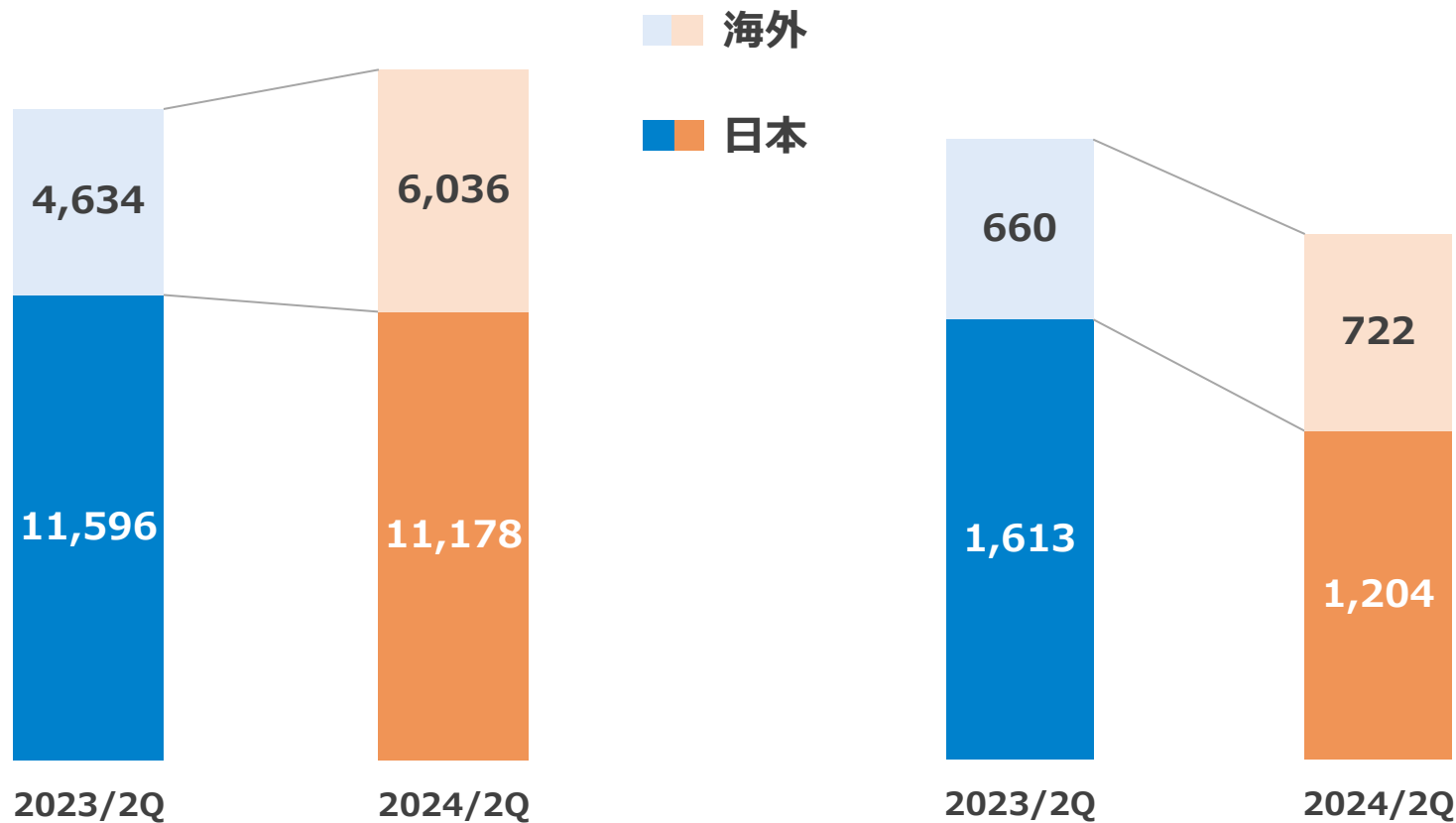
為替レート ¥/US\$ 134.98 152.36

セグメント別第2四半期累計売上高・営業利益

(百万円)

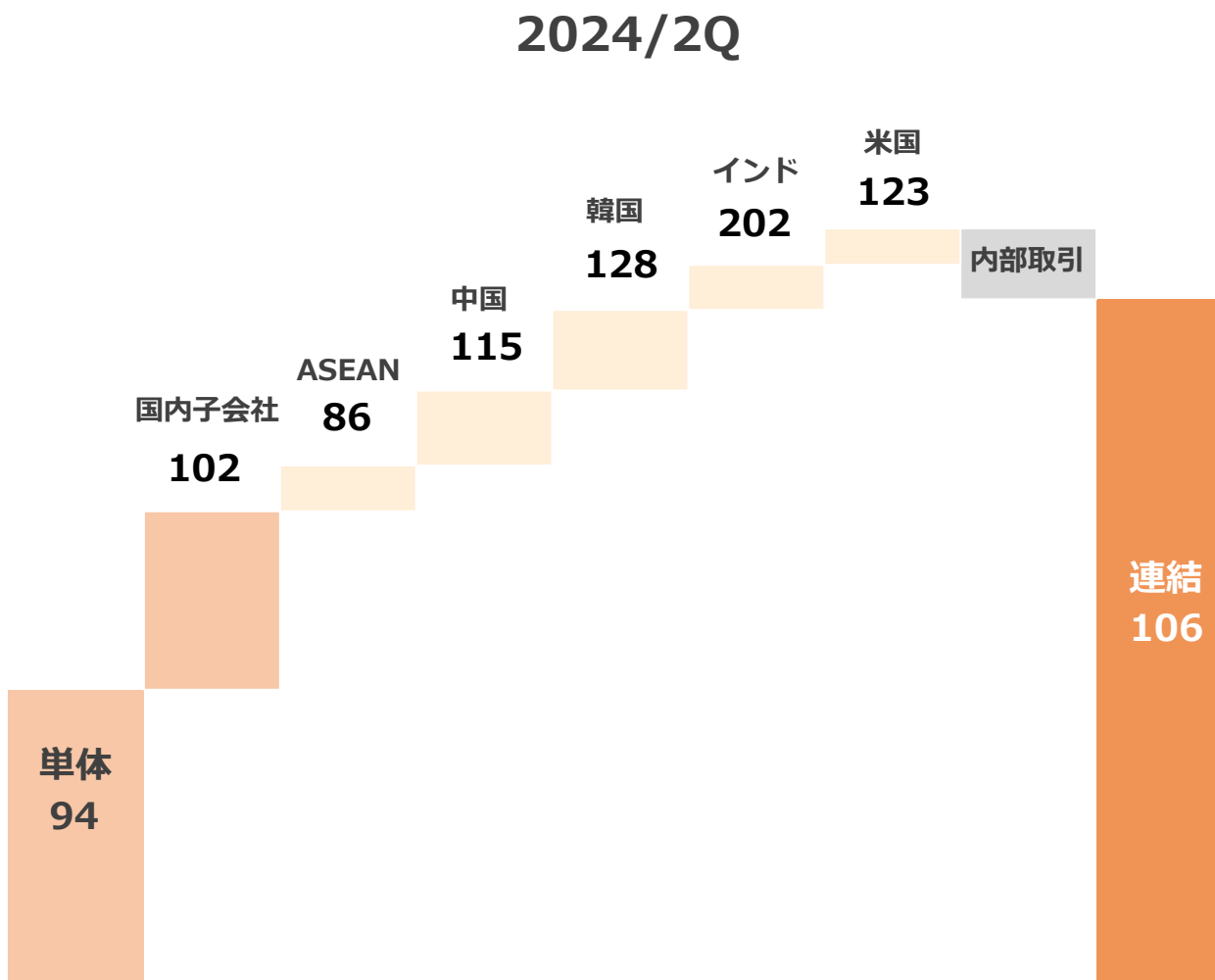
売上高

営業利益



当社グループ第2四半期累計売上高の割合

※2023/2Qの各地域の売上高を100とする



※単純合算

※ASEAN: シンガポール・タイ・インドネシア

グループ第2四半期累計業績ハイライト

単体

- 輸出混載貨物が4月以降は回復基調にあるが、3月までは前年を下回る取扱であったことが主な要因となり、減収減益。

国内子会社

<ユーシーアイエアフレイトジャパン>

- 主力とする航空輸送は好調を維持、売上高、売上総利益は前年比増加。しかし、業務の拡大に伴い、本社事務所の増床等を行ったため販管費が膨らみ、営業利益は減少。

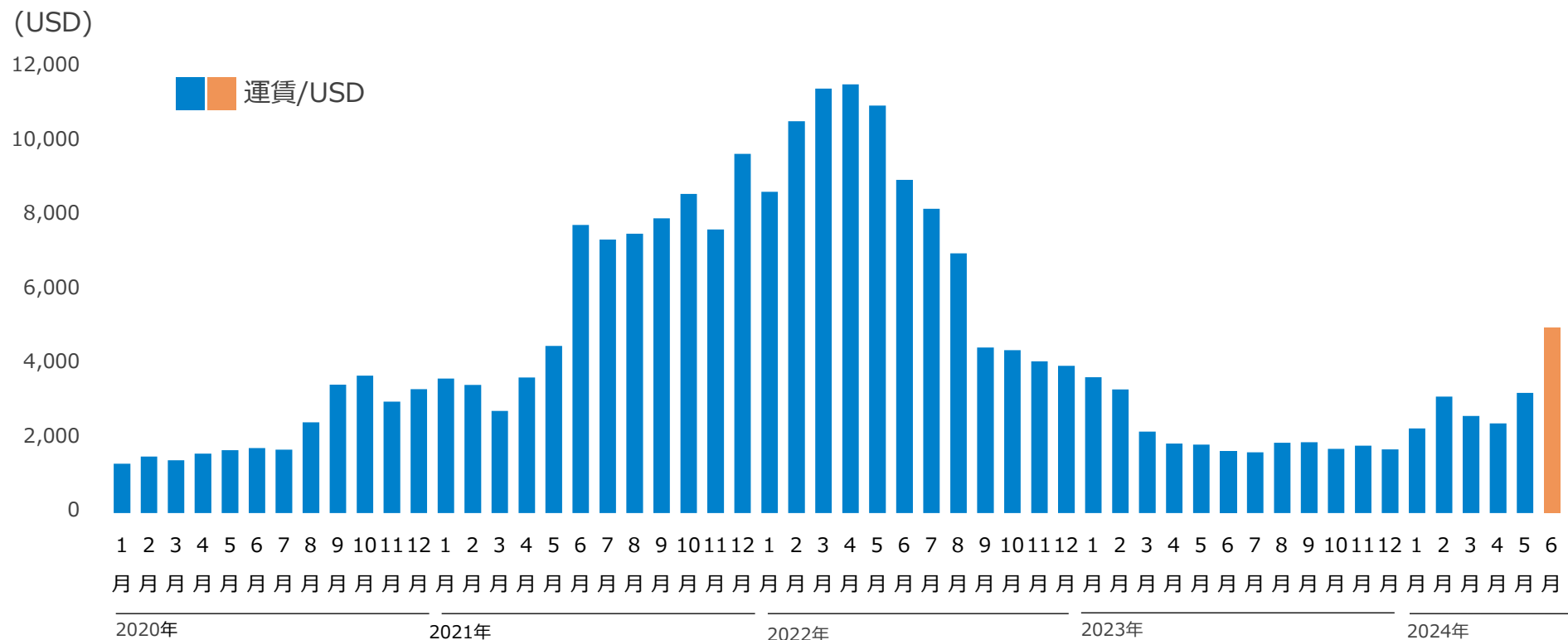
<フライングフィッシュ>

- 新システムの導入や営業努力により顧客からの評価を高めたことが大口新規案件の獲得を含む取引の拡大に繋がり、増収増益。

海外子会社

- 倉庫事業の取扱が堅調に推移しているインド及び昨年物流倉庫の取得によって増床した内外釜山物流センターを中心とする韓国等が売上を伸ばした結果、増収増益。

北米航路月別海上運賃の推移(横浜/20ft)



横浜/ロサンゼルス航路コンテナ運賃動向

2024年7月31日

(USD)

年	サイズ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	20ft	3,662	3,332	2,192	1,871	1,840	1,657	1,637	1,894	1,908	1,725	1,812	1,714
	40ft	4,946	4,632	3,486	2,563	2,328	2,166	2,106	2,484	2,499	2,248	2,382	2,230
2024年	20ft	2,281	3,138	2,616	2,414	3,236	4,996						
	40ft	2,832	3,990	3,384	3,122	4,216	6,487						

※(公)日本海事センター：コンテナ運賃動向資料を基に当社にて作成

連結会計期間実績

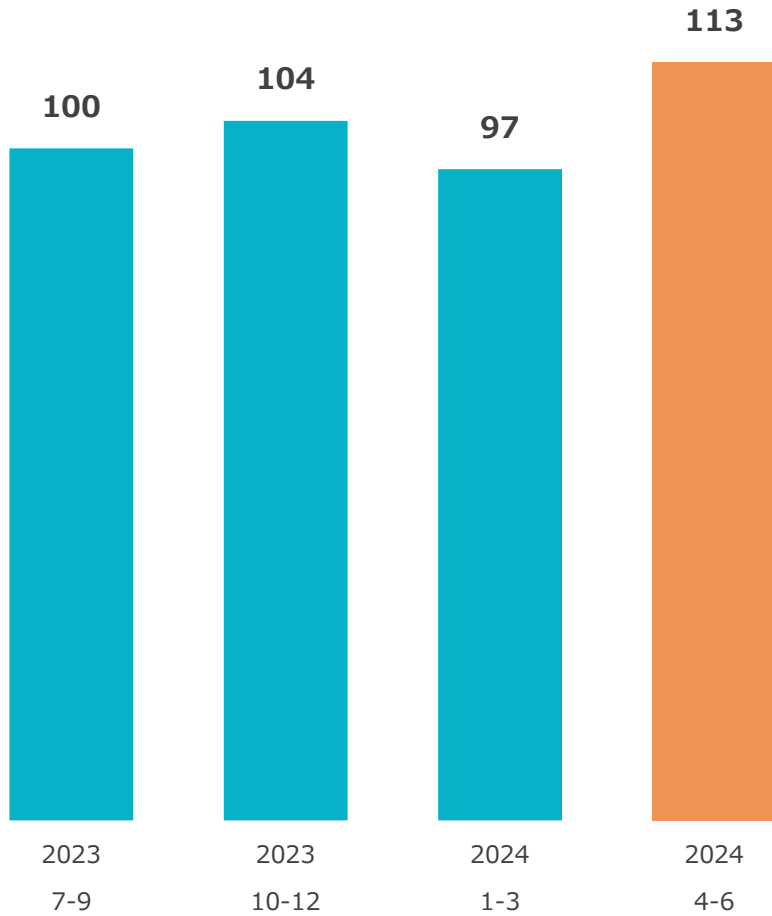
(百万円)

	2023 7-9月	2023 10-12月	2024 1-3月	2024 4-6月	対2024 1-3月比
売上高	8,095	7,954	7,948	9,266	16.6%
営業利益	1,006	924	827	1,097	32.5%
経常利益	1,091	912	972	1,210	24.4%
親会社株主帰属 当期純利益	738	656	671	802	19.4%

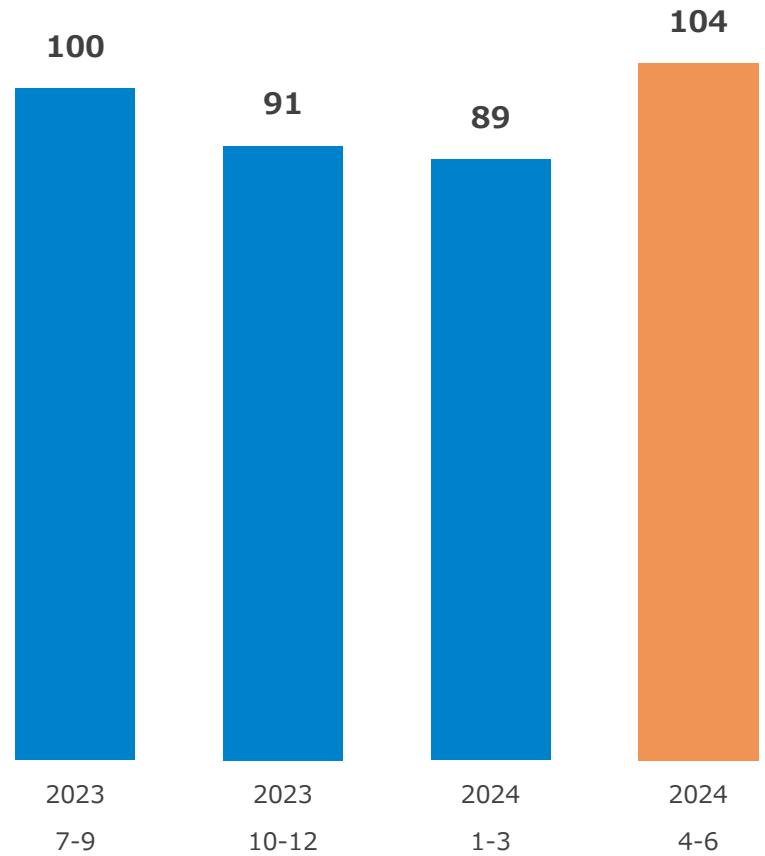
単体混載売上高推移

※2023年7-9月を100とする

輸出



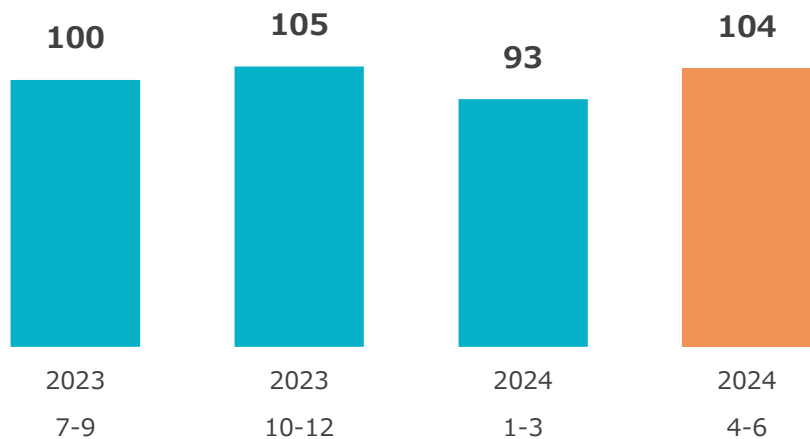
輸入



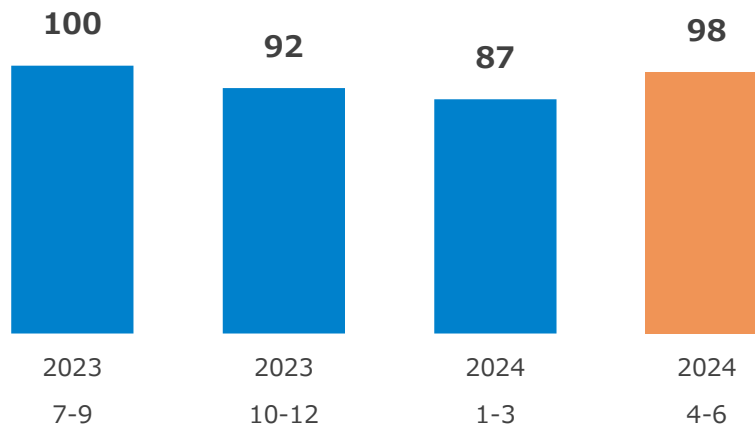
単体混載数量・単価推移

※2023年7-9月を100とする

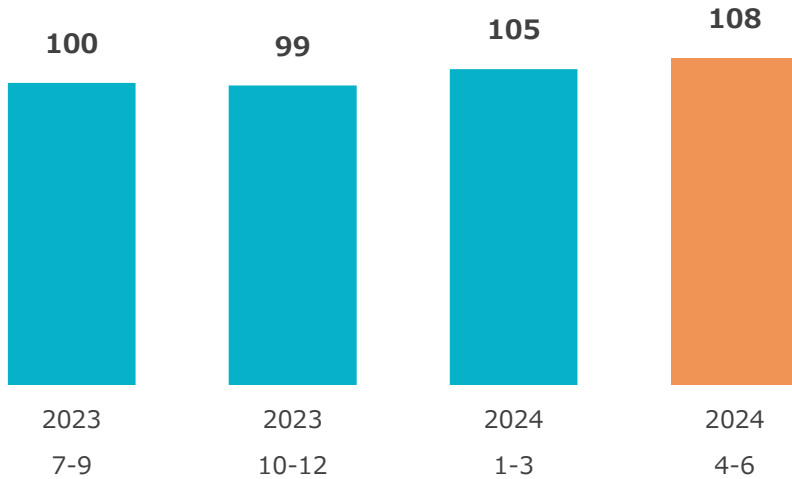
輸出混載数量



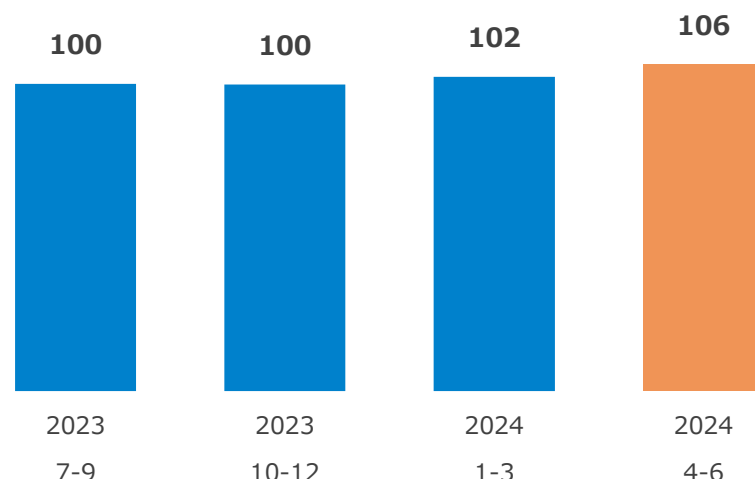
輸入混載数量



輸出混載売上単価



輸入混載売上単価



連結貸借対照表の概要(前期末比)

(百万円)

<主な変動要因>

流動資産

- ・現金及び預金 +1,616
- ・売掛金 +687

固定資産

- ・建物及び構築物 +727
- ・投資その他の資産 +55

総資産額 26,597 (+3,234)

流動負債
2,920
(+778)

固定負債
1,139
(+299)

純資産
22,537
(+2,155)

流動資産
19,540
(+2,435)

固定資産
7,056
(+798)

自己資本比率 81.0% ※

<主な変動要因>

流動負債

- ・買掛金 +289
- ・未払法人税等 +357

固定負債

- ・リース債務 +220

純資産

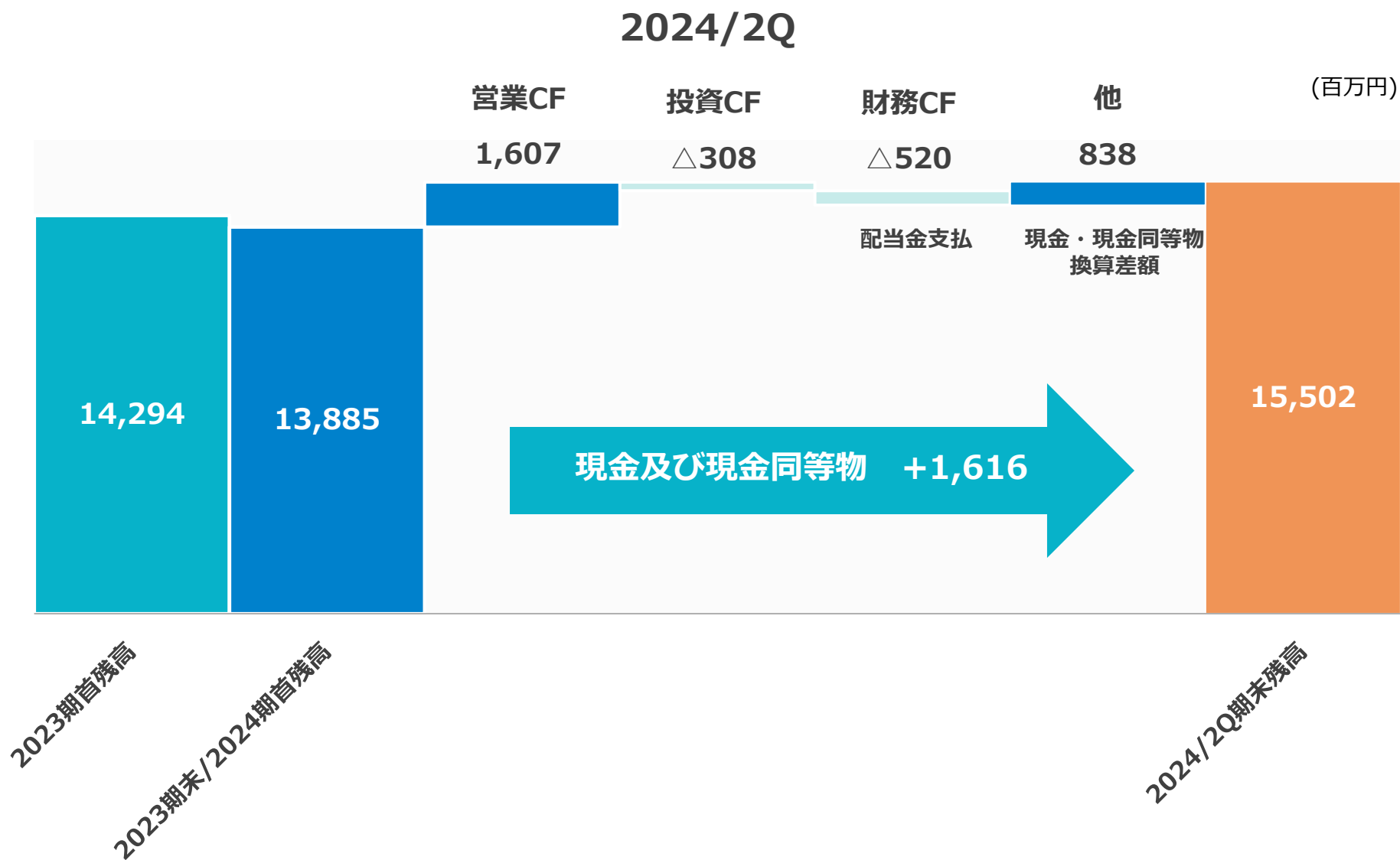
- ・利益剰余金 +1,032
- ・為替換算調整勘定 +1,015

() 内は前期末比増減

※自己資本 21,545

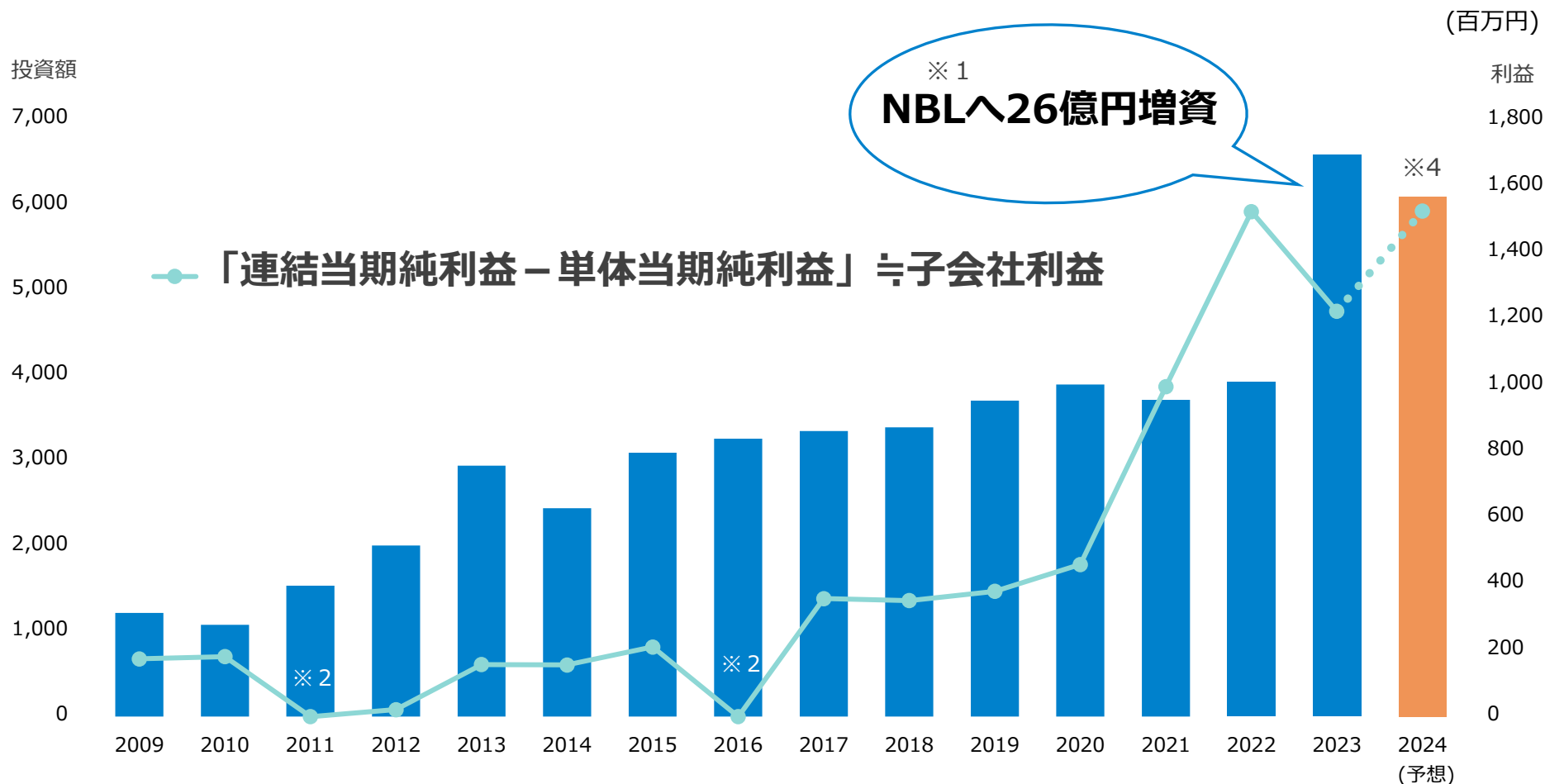
2024年6月末現在

連結キャッシュフロー計算書の概要



当社の投資の推移

単体の貸借対照表上の「投資その他資産」推移 ^{※3}



※1 NBL…内外釜山物流センター(韓国の連結子会社)

※2 2011年、2016年の「連結当期純利益－単体当期純利益」については、連結でのれん減損損失等を計上したことにより、「連結当期純利益<単体当期純利益」となったため、ゼロで表示

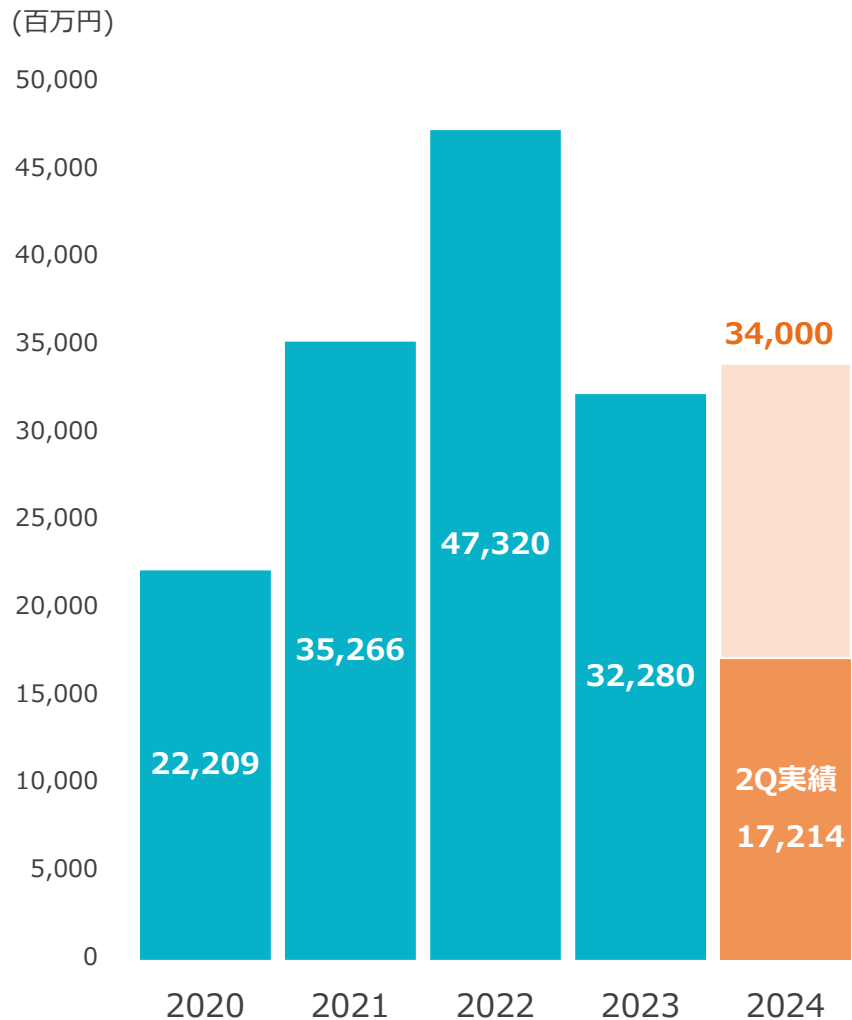
※3 グラフには単体の流動資産の「関係会社短期貸付金」を含む

※4 連結子会社から関係会社貸付金の返済があったため減少

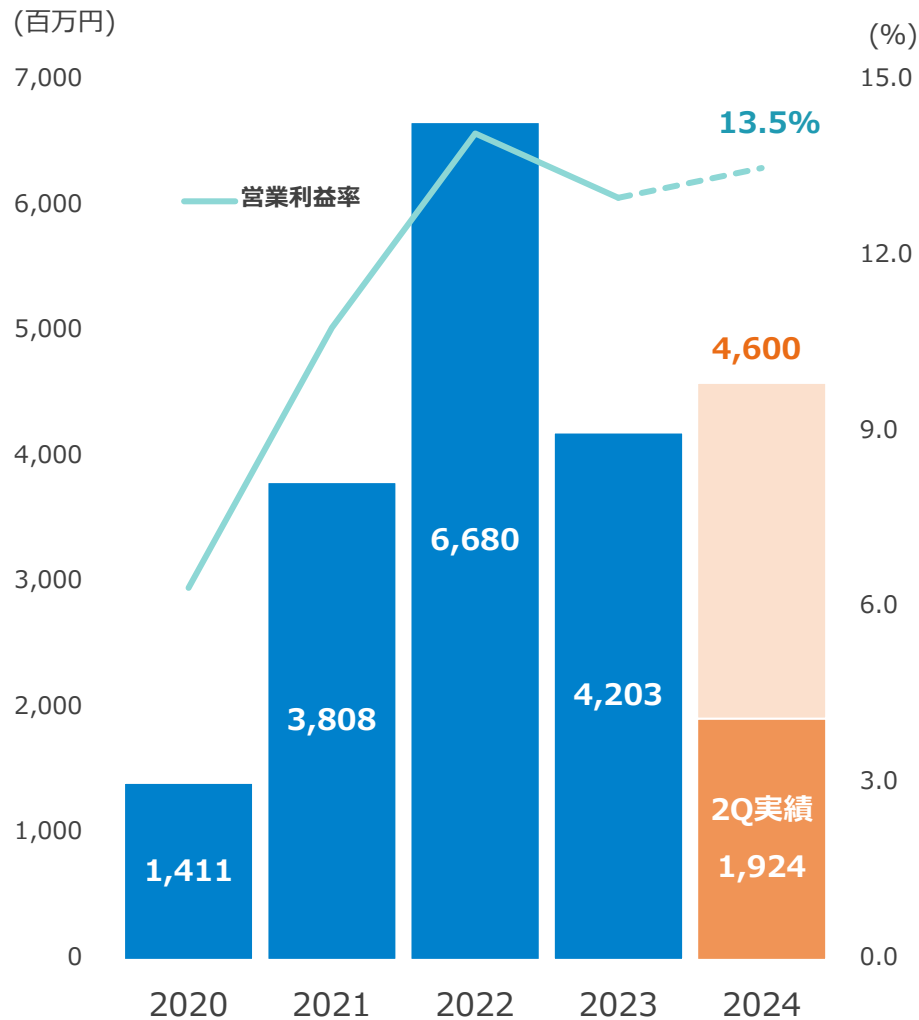
今期業績予想

連結売上高・営業利益業績予想

売上



営業利益



第5次中期経営計画（2023年～2027年） ※1

当社グループが目指すもの

国際物流における
最高のソリューション
プロバイダーでありたい!

基本方針

真の国際総合フレイト
フォワーダーを目指す

本業の混載で
国内シェアトップ
維持拡大

第2の本業として
フォワーディング
を徹底的に拡大

グループ
売上高
700億円
(2027年度)

当期純利益※2
50億円
(2027年度)

※1 中長期的視点で経営する目的で5か年で設定

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

[2023年2月10日公表資料]

中期経営計画 進捗状況（2023年）

2023年
5月

韓国 内外釜山物流センター
釜山で3万㎡物流倉庫を取得

2023年
9月

インドネシア
PT.NTL NAIGAI TRANS LINE INDONESIA
スラバヤに支店開設



釜山物流倉庫



スラバヤ支店

ベトナムにおける子会社設立

国内の連結子会社

2024年
秋

フライングフィッシュ株式会社が ベトナム・ホーチミン市に子会社設立

- **商号**：Flying Fish Vietnam Co.,Ltd.
- **所在地**：ベトナム社会主義共和国ホーチミン市
- **資本金**：8,200百万VND（約50百万円）
- **会社設立年月**：2024年10月（予定）



ベトナム



単体危険品海上混載サービス強化

※1

内貨受け拡充

2023年11月

東京港で内貨搬入に対応する危険品倉庫を開設。

2024年5月

九州で内貨受け危険品サービスを開始。通関手配やCFS※2への横持ちまでの一貫輸送を提供。



※1 内貨…内国貨物の略。

※2 CFS…Container Freight Stationの略。混載貨物をコンテナに詰合わせる（又は取出す）作業を行う施設。

仕向地拡充

2024年6月

名古屋発、神戸発で危険品ダイレクト混載の仕向地を拡充。

新倉庫の建築及び用地取得

建築

韓国 内外釜山物流センター 釜山で冷凍倉庫を建築予定

- 建築費用：95億ウォン
(約10億50百万円)
- 倉庫面積：合計4,375m² (3階)



完成イメージ

用地取得

国内 株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパン 2024年7月 関空近辺に物流倉庫用地取得

- 用地取得費用：3億円
- 倉庫建設費用：3億90百万円 (予定)
- 用地面積：1,922m²
- 倉庫面積：合計1,170m² (2階)

IR活動 (2024)

2月

- 2023年12月期
決算発表
- **2023年12月期
機関投資家向け
決算説明会
(野村IR)**

3月

- 定時株主総会

4月

- 2024年12月期
第1四半期
決算発表

6月

- **個人投資家向け
説明会
(野村IR)**

7月

- 2024年12月期
第2四半期
決算発表

8月

- **2024年12月期
第2四半期
機関投資家向け
決算説明会
(野村IR)**

10月

- 2024年12月期
第3四半期
決算発表

11月

- **個人投資家向け
説明会 (予定)**

SDGsへの取り組み

当社は経営理念のもと SDGsと行動規範を関連付け グループ経営を推進

(経営理念・行動規範 2006年7月制定)

※内外トランスライングループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



■ 当社の行動規範(抜粋)とSDGs

私たちは高い倫理と協調の精神を持って行動します

- 女性活躍推進
- シニア雇用
- 育児・介護休業制度



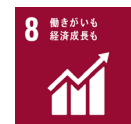
私たちは会社の仕事を通じて社会への貢献を果たします

- 地域社会の発展・活性化・次世代育成
- 環境負荷低減
- CO₂排出量の算出
- サステナビリティ委員会の設置



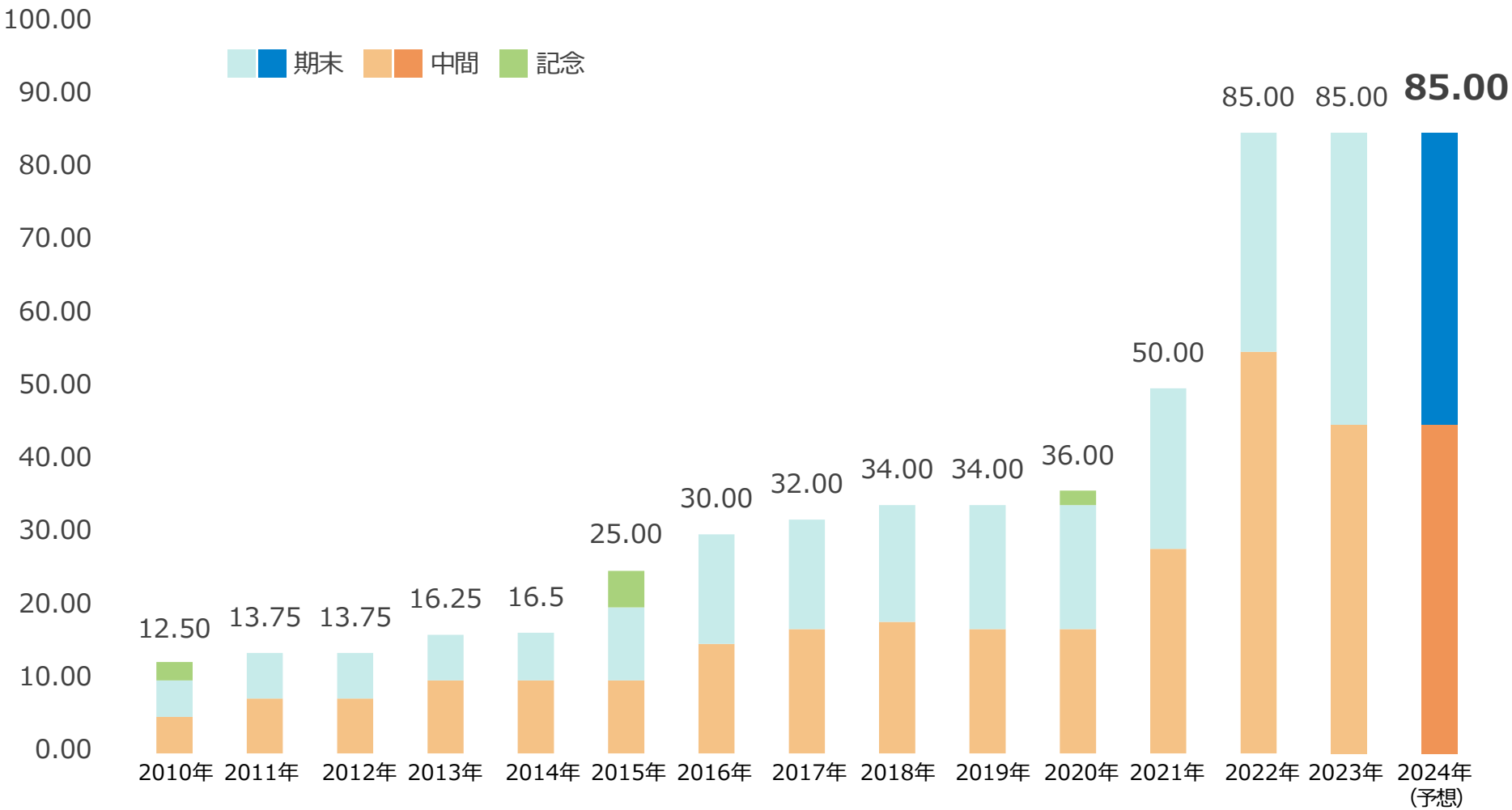
私たちはたゆまぬ努力により自己の成長を図り、社会を
発展させてゆきます

- 社会・経済の発展に貢献



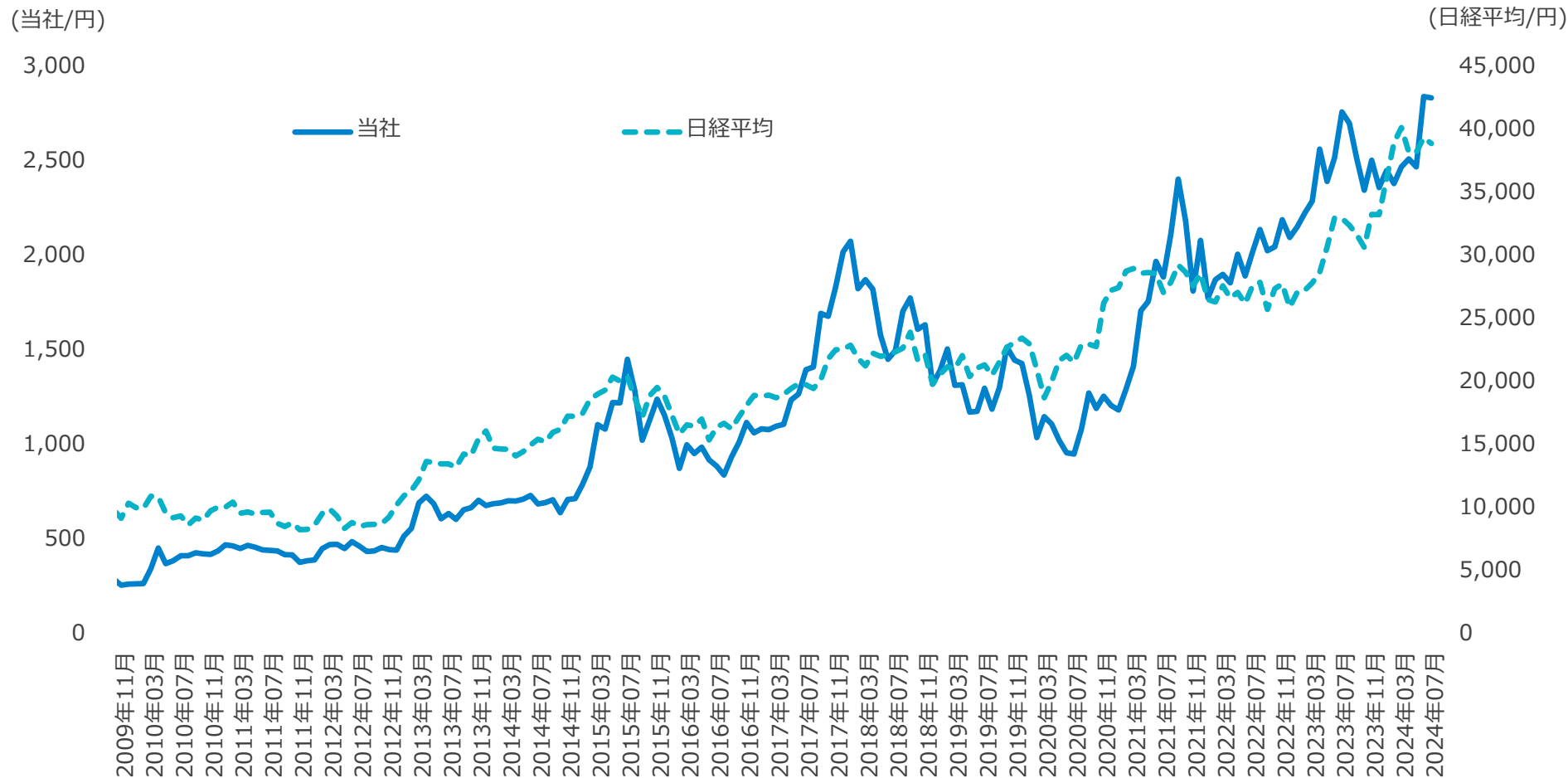
配当金の実績と予想

(配当金/円)



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

当社株価の推移



※2012年と2015年6月を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、分割後の株価を基に算出

出典：Yahoo! JAPANファイナンスを基に当社作成 (株価は月末終値)

ご清聴ありがとうございました



お問合せ先：取締役 IR担当 人見 茂樹

大阪本社 大阪市中央区備後町2丁目6番8号 サンライズビル5階

TEL 06-6260-4800 **URL** <https://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。